

竹内街道・横大路（大道）1400年活性化プロジェクト通信（VOL.3）

春爛漫！街道沿線のお祭りがいっぱいです！（その3）

1400年活性化プロジェクト！街道沿線には、魅力的な体験がいっぱい、山をきれいにしながら、身心もリフレッシュしたり、古のお祭りを体験できたり、イチゴ狩りなどでスイーツを堪能！！

（竹内街道・横大路（大道）1400年活性化事務局）

1. 「岳のぼり」（葛城市）



毎年4月23日は二上山麓周辺地域の人々が「岳登り」と称して、二上山へ登る伝統的な行事があります。その歴史は古く、江戸時代に出版された「西国三十三所名所図会」という書物にも記されています。この行事が行われる範囲を「岳の郷」と言い葛城市はもとより大和高田市、香芝市にまで及んだと言われていました。かつては山頂でごちそうを食べて新緑を楽しむ行事でしたが、現在は二上山美化促進協議会（葛城市・香芝市、太子町）主催の美化促進運動と重なり、清掃登山の目的も含み登るようになりました。

毎年、1500人以上の参加者があり、大変多くの人で賑わいます。

【日時】平成25年4月23日（火）午前11時より三カ所で受付開始（葛城市：大池登山口、香芝市：上ノ池登山口、太子町：岩屋登山口）最終受付は午後2時30分。

【お問合せ】葛城市役所 商工観光課 TEL 0745-48-4611

2. 當麻寺練り供養会式（たいまでらねりくようえしき）（葛城市）



正しくは、「聖衆来迎練供養会式（しょうじゅらいごうねりくようえしき）」という歴史的に名高い法会（ほうえ）で、中将姫が當麻寺で現身（うつしみ）のまま成仏されたという伝承を再現しています。式当日は、「極楽堂（本堂を、当日はこのように呼ぶ）」と「娑婆堂（しゃばどう）」との間に「来迎橋（らいごうばし）」と呼ばれる長い板橋が架けられ、鐘の音を合図に、「中将姫」の像が輿（こし）にのせられて二十五菩薩に扮した人々とともに「娑婆堂」まで運ばれていきます。

その後も行列は続き、一行が「極楽堂」へ戻るころには夕日が傾き、二上山が西方極楽浄土を思わせる中で練供養は荘厳な雰囲気の中、終わりのときを迎えます。寛弘2年（1005年）から途切れることなく続いてきた當麻寺の練供養は今年で1009回目を向かえ、今もなお、式の当日には一目見よ

うと多くの人々が當麻寺を訪れます。

【日 時】平成25年5月14日（火） 午後4時より

【お問合せ】當麻寺中之坊 tel 0745-48-2001

3. あすかいちご狩りパーク（明日香村）



甘みと酸味がほどよく調和したあすかるびーが 30 分間食べ放題。明日香村内 12ヶ所で開園しています。腰をかがめず楽々収穫できます。ビニールハウスなので雨の日も安心。

美味しいいちごを食べていただくため、完全予約制となっています。

【開園日】5月29日までの土曜日、日曜日、祝日、水曜日

【入園料】5月6日（月祝）まで大人（中学生以上）1,400円、小学生1,100円、幼児（3歳以上）700円

【お申込み】あすかいちご狩りパーク予約受付係 TEL 0744 (54) 1115

竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会

大阪府と奈良県を東西に結ぶ竹内街道・横大路（よこおおじ）は、「日本書紀」の推古天皇21年（613年）の条に「難波（なにわ）より京（飛鳥）に至る大道（おおじ）を置く」と記された「大道」のルートと重なることから、日本最古の官道と呼ばれています。

「大道」が敷設されてから、平成25年（2013年）に1400年の節目を迎えることを契機として、府県を越えて大道沿線の10市町村（大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村）と大阪府、奈良県の首長などが参集し、「竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会」を発足して、連携しながら周辺地域の魅力を再発掘し、街道の魅力を高め、地域活性化等に繋げる取り組みを進めております。

文責：竹内街道・横大路（大道）1400年活性化実行委員会（問合せ：事務局（大阪府都市整備部事業管理室 TEL.06-6944-9269））